

# 希望の子

小林市立南小学校 校長通信  
令和2年7月28日 第5号 (文責 校長 吉井秀一)  
TEL: (0984) 23-3520 E-mail:1403eb@miyazaki-c.ed.jp

子どもたちも「新しい生活様式」に慣れ、手洗いの習慣も身に付いてきたかな?というところで、いよいよ夏休みを迎えることとなりました。

「夏休みの頃には・・・」と淡い期待もむなく、全国的に感染者の(再)増加が報道される毎日、九州各県、宮崎でも警戒の態勢を緩めることのできない状況です。

加えて、私もよく出かけるお隣の吉市では、信じられない光景がテレビに映し出され、あの店はどうなった?と画面に釘付けになりました。

「重なるときは重なる・・・」とは幸運の時に使いたい言葉。ご家庭でもマスクと手洗いの習慣を続けて、安全に、そして楽しい夏休みを過ごして欲しいと思います。

## いつもと違う夏 有意義に

私の夏と言えば、子どもも成人していますので、用事と言っても盆の行事。毎年、ちょっと親戚が集まって食事をするくらいのもので。旅行に行くとか、恒例のキャンプとか・・・アクティブな計画があれば生活にも張りがあり、充実するのですが、毎年、いつの間にか学校が始まっています。

ただ、昨年からちょっとずつ体のメンテナンスを始めている点は、自分でも感心しています。とにかく病院に掛かるのが苦手(病院の先生には失礼)な方だったのですが、昨年の夏には、健康セミナーに興味半分参加して、秋までに禁煙に成功。今年は、五月から歯科医に通って全面治療中です。

これまでほったらかしていた身体を、今頃いたわってどれだけ効果があるのか分かりませんが、寄る年波に応じた対応が肝心かと言いかせております。

さて、今年の夏はどのようにお過ごしになりますか。本当なら「オリンピックの夏」のはずが、「コロナ禍」と「豪雨災害」で九州内も大変な状況。対策や復興に当たられる方々には、大変なご苦労があるうかと思いますが、私たちにどうも「いつもと違う夏」。いっそのこと今年は、ご家族で「健(幸)」をテーマにした夏はどうですか?

お子さんは虫歯の治療を始め、お父さんは健康診断、お母さんもリフレッシュの機会をつくる・・・いかがでしょう「健(幸)の夏」。

## みんなて対応

「コロナが発生した学校で、感染者が転校を余儀なくされた・・・」との記事が目に入り、首をかしげました。感染者やその家族への偏見や差別を防ぐことは、コロナ禍が始まった当初から、学校が行うべき人権教育の重点課題であったからです。

本校では、感染が発生した場合の「危機管理マニュアル」(裏面)を作成していますが、ご覧いただくとお分りのように適切な対応のために学校の休業はやむなしです。

大切なことは、みんなて状況を理解し合い、力を合わせて拡大を防ぐことです。そして、感染者の回復をみんなて願い、支援することです。

「危機的な事態にこそ教育の機会がある」・・・学校の役割は、何が起ころってもしっかりと果たしたいと思います。

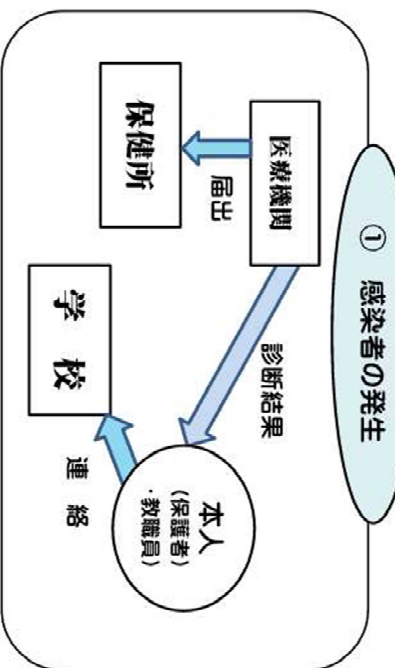
### ご連絡のおねがい

今年はいつもとより短い夏休みですが、それでも連続で26日間のお休みとなります。子どもたちに事故や大きなケガがないことを祈るばかりですが、万が一、発生した場合や、災害等の情報を得られましたら、学校へのご連絡もお願いいたします。

17 新型コロナウイルスの感染者が発生した場合の対応

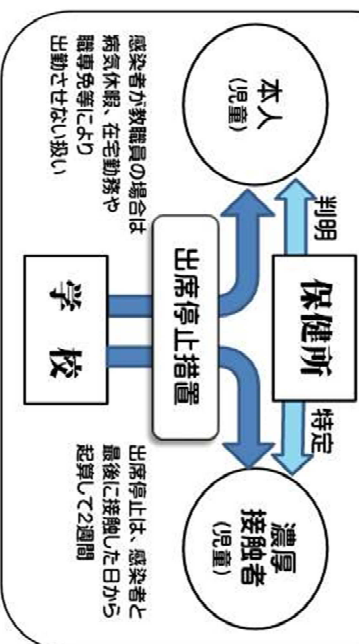
基本的対応

家庭での朝の検温・学校での健康チェック・健康観察・保健管理  
 県・市の感染者情報、保健所等の情報、「感染症情報システム」の活用



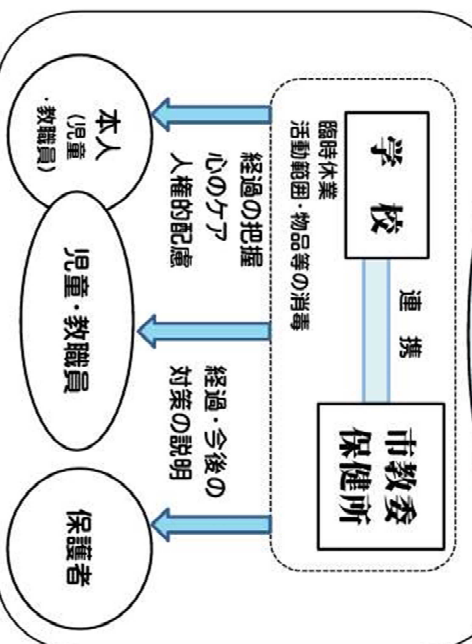
① 感染者の発生

③ 感染者等への対応



※ 感染者の学校内での活動の状況や地域の感染拡大の状況を踏まえ、学校内で感染が広がっている可能性が高いと判断された場合、保健所の調査や学校医の助言等により、市は、学校の全部または一部の臨時休業を行う。

④ 学校の対応



※ 児童や教職員の感染が確認された場合は、濃厚接触者が保健所により特定されるまでの間、市は、学校の全部または一部の臨時休業を実施する。

② 調査

